

例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の1994年度の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査および整理事業は、国庫（1,900,000円）、県費（950,000円）の補助金の交付を受け、平成6年4月4日から平成7年3月31日まで実施した。
3. 調査組織

調査主体者	大井町教育委員会		
担当課	生涯学習課文化財保護係		
教 育 長	小林茂吉（6.9.30まで） 高橋好次郎（6.10.1～）		
生涯学習課長	石井忠夫	文化財保護係	坪田幹男・高崎直成・鍋島直久
文化財保護係長	岡田真一	発掘調査担当者	坪田幹男・高崎直成・鍋島直久

4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。

執 筆：高崎直成（第Ⅰ、Ⅱ、Ⅴ、Ⅵ章）、鍋島直久（第Ⅲ、Ⅳ章）、土本匡（第Ⅴ章石器）	土器拓影：石垣ゆき子、丹治つや子
土器復元：中田藤子	実 測：（街）文化財COM、斎藤尽志、高崎直成、高橋けい子、土本匡、鍋島直久
トレース：小林登喜江、須藤さち子	図版作成：石垣ゆき子、丹治つや子
遺構写真：坪田幹男、高崎直成、鍋島直久	遺物写真：高崎直成

また、本書の作成にあたり日本考古学協会の今井堯氏の絶大な援助と協力を得た。

5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。
浅野晴樹、荒井幹夫、今井堯、内田賢司、加藤秀之、神木繁嘉、駒井和久、桜井信枝、
佐藤正志、笹森健一、島田一郎、鈴木加津子、鈴木仁子、中島宏、塚田政子、原口雅樹、
早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、三上七五郎、水村孝行、柳井章宏、柳沢健司、和田晋治
（敬称略） 埼玉県教育局指導部文化財保護課、大井町大井・苗間第一土地区画整理組合、
亀久保特定土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会。
6. 発掘調査ならびに整理事業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉（敬称略）

会沢 泉、秋本太郎、新井和枝、荒井美奈子、飯塚泰子、井上晴江、内田信治、海老原サナエ、
大井美智子、大曾根キク子、笠原英子、金子君子、金丸文男、上岡福蔵、神木光治、川部栄子、
河野俊郎、小林こずい、小山エミ子、斎藤尽志、酒井 昭、佐久間ひろ子、佐々木定男、
鮫貝有子、菅原 正、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、高木千恵子、高久 彩、高橋明美、
千見寺泰臣、戸澤竹二、中嶋末子、仲里しげ子、永塚美千代、並木宗次、野岡由紀子、
野上吉樹、野沢松代、橋本弓子、塙 和男、林きぬ子、比嘉洋子、黛 佳代子、三村美代子、
宮田 守、森脇やよい、山下一枝、若尾久美子、若林紀美代。

〈整理事業参加者〉（敬称略）

石垣ゆき子、斎藤尽志、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、富岡康子、中田藤子

凡 例

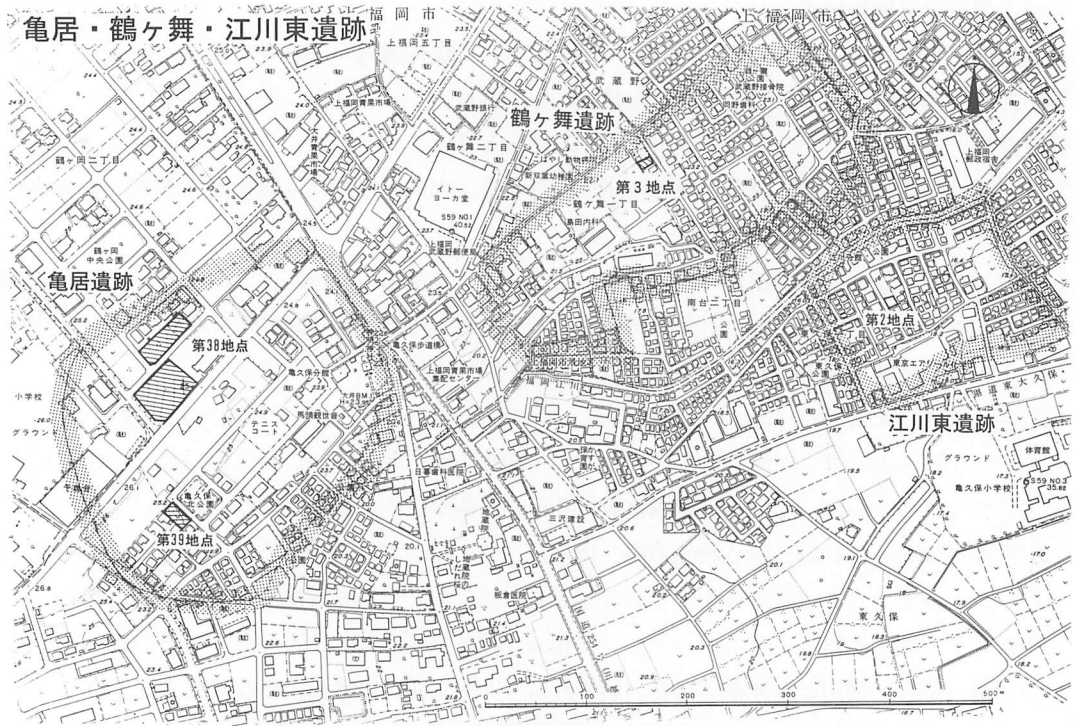
1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1)縮尺は原則として	遺構平面図・遺物出土状況図	1:60
炉等の詳細図	土器実測図	土器拓影図・石器実測図
1:30	1:4	1:3

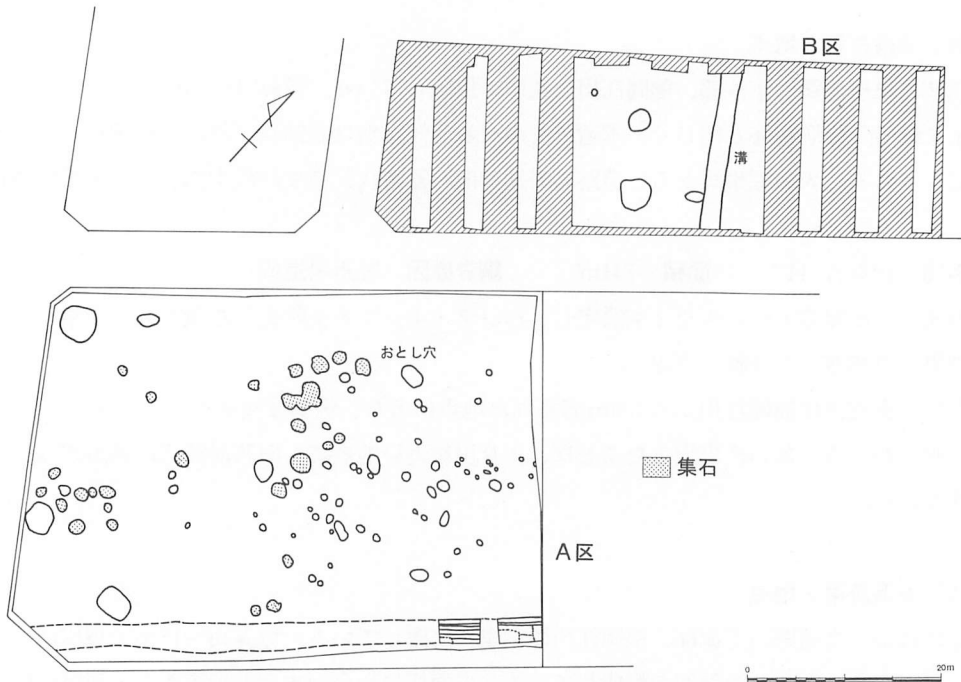
 (2)遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。
 (3)遺構図中の細数字は、床面もしくは確認面からの深さ(cm)を示す。
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。
3. 土器断面図は、「網目」が繊維含有、「黒丸」が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
5. 本報告の出土品・記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

2 1994年度 埋蔵文化財調査一覧

No.	遺 跡・地 点	所 在 地	面積(m ²)	原 因	調査期間	調 査 結 果
1	西台遺跡第2地点	大井897-1、2	6,149	遊 技 場 建 設	4/4～4/12	試掘調査 旧石器時代 礫群 縄文時代 集石 土坑
2	本村遺跡第35地点	大井357-1	452	共同住宅建設	4/4～4/12	試掘調査 遺構なし
3	西ノ原遺跡第69地点	苗間106	1,821	店 舗 建 設	4/8～4/27	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡 屋外炉 土坑
4	西ノ原遺跡第70地点	苗間136	551	店 舗 建 設	5/9～5/17	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡 伏甕 土坑 ピ ット
5	東台遺跡第22地点	大井651-6	145.53	店 舗 建 設	5/10～5/11	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡 土坑
6	小田久保遺跡第3地点	大井1214-3	330	個人住宅建設	6/7	試掘調査 遺構なし
7	西ノ原遺跡第71地点	苗間112	309	個人住宅建設	6/20～7/5	試掘調査 時期不明 おとし穴
8	東台遺跡第23地点	大井649-12、13	285.91	個人住宅建設	6/23～6/27	試掘調査 縄文時代 住居跡
9	東台遺跡第24地点	大井634-20	58.49	個人住宅建設	7/6	試掘調査 縄文時代 集石 土坑
10	鶴ヶ舞遺跡第3地点	鶴ヶ舞1-69-1	141	駐 車 場 造 成	7/10	試掘調査 遺構なし
11	本村遺跡第36地点	大井101-9-10	890	共同住宅建設	7/28～8/4	大井町遺跡調査会で発掘調査 旧石器時代 礫群 縄文時代 土坑 中近世 井戸 溝 土坑 柵列
12	亀居遺跡第38地点	鶴ヶ岡2-1-1他	3,162.14	店 舗 建 設	8/22～8/30	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文時代 集石 土坑 おとし穴 近世 根切溝
13	亀居遺跡第39地点	亀久保1008-5	342	駐 車 場 造 成	8/26～8/29	試掘調査 縄文時代 炉穴 土坑
14	本村遺跡第37地点	大井251	596	事 務 所 建 設	8/31～9/2	試掘調査 遺構なし
15	本村遺跡第38地点	大井253	264.53	個人住宅建設	8/30～9/7	試掘調査 中近世 溝
16	浄禅寺跡遺跡第8地点	苗間357-1	615	宅 地 分 譲	9/20～9/27	試掘調査 時期不明 おとし穴 近世 根切溝
17	浄禅寺跡遺跡第9地点	苗間353	1,266	農 地 改 良	10/18	試掘調査 時期不明 土坑 溝 焼土
18	浄禅寺跡遺跡第10地点	苗間356-1	999.09	宅 地 分 譲	10/31～11/2	大井町遺跡調査会で発掘調査 近世 土壌墓 一石経埋納土坑 溝
19	東台遺跡第25地点	大井648-13、14	296.04	個人住宅建設	10/22～12/16	本調査 縄文中～後期 住居跡 土坑 袋状土坑 ピット 6 委保記第5-5066号
20	西ノ原遺跡第72地点	苗間112-109	321.47	個人住宅建設	11/2～11/28	本調査 縄文中期 住居跡 土坑 近世 溝 6 委保記第5-6583号
21	本村遺跡第39地点	大井124-1	805	共同住宅建設	11/9～11/16	試掘調査 遺構なし
22	本村遺跡第40地点	大井321-1	131	宅 地 分 譲	11/22	試掘調査 遺構なし
23	本村遺跡第41地点	大井326	413	宅 地 分 譲	11/15～11/22	大井町遺跡調査会で発掘調査 近代 ゴミ捨て土坑
24	本村遺跡第42地点	大井325	201	宅 地 分 譲	11/15～11/22	大井町遺跡調査会で発掘調査 近代 ゴミ捨て土坑
25	浄禅寺跡遺跡第11地点	苗間352-1他	572	道 路 築 造	1/9～2/3	試掘調査 時期不明 湧水口 焼 土
26	本村遺跡第43地点	大井153-2、3	704	宅 地 分 譲	1/12～1/19	大井町遺跡調査会で発掘調査 中近世 井戸 土坑 溝 柵列
27	江川東遺跡第2地点	東久保1-162-34	190.90	個人住宅建設	1/20～2/6	本調査 近世 土坑 ピット 7 委保記第5-856号
28	本村遺跡第44地点	大井287-1	1,198.68	共同住宅建設	2/17～2/28	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文時代 土坑 おとし穴 中近世 井戸 土坑 道路跡 ピット
29	神明後遺跡第3地点	苗間309-12-13	200.03	宅 地 分 譲	3/24～3/29	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡埋甕 土坑 ピット 近世 溝
30	西ノ原遺跡第73地点	苗間92-1	274	個人住宅建設	3/27～3/29	試掘調査 遺構なし
	調査面積合計		23,543.81			



遺跡範囲及び調査区位置図(1/7500)



亀居遺跡第38地点遺構配置図(1/800)

第3図 試掘調査位置図及び調査区域図(1)

(1) 2 亀居遺跡第39地点

調査期間 1994, 8, 26～8, 29 面積 342m² 調査原因 駐車場造成

調査方法 バック・ホウで表土除去した後、人力で精査。

調査結果 縄文時代（炉穴 4 基、土坑 1 基、ピット 5 基）

調査所見 調査区は谷頭に近い遺跡の西側に位置する。本遺跡で炉穴は初検出である。遺構がわずかなため、確認調査の範囲内で記録化した。

【炉穴】 調査区の南西角で検出した。細長い掘り込みに 4 ヶ所の炉跡がある。南側では調査区域外へさらに落ち込みが続いており、長軸で 270cm 以上ある。炉穴 1 から炉穴 3 にかけて緩やかに傾斜し、主軸方位は北北西をしめす。炉穴 4 は炉穴 2 の 90°西にある。

炉穴 1 は幅 100cm、深さ 15cm の掘り込みに、45×35cm の焼土面を持ち、底面が硬く焼ける。

炉穴 2 は幅 80cm、深さ 29cm の掘り込みに、52×60cm の焼土面を持つ。焼土面自体浅く掘り込まれ、壁まで良く焼けて赤化している。南側は炉穴 3 による落ち込みが続く。

炉穴 3 は幅 110～140cm、深さ 42cm の掘り込みに、55×84cm の焼土面を持つ。焼土面は一段深く掘り込まれ、壁まで良く焼けて赤化している。南側には足場と思われる掘り込みが続く。

炉穴 4 は一部しか検出できなかったが、幅 70cm、深さ 35cm の掘り込みに径 40cm 近い焼土面を持つ。

【ピット】 炉穴の周辺に 5 基検出した。いずれも径 20～35cm、深さ 15cm 前後である。

【土坑】 調査区の北側にあり、140×108cm の卵形で、深さ 25cm ある。

【出土遺物】 一点出土した。包含層出土で、口縁部の破片である。時期は縄文中期と思われる。

(2) 鶴ヶ舞遺跡第 3 地点

本遺跡は亀居遺跡の下流部、福岡江川の左岸に位置している。標高 21～23m で現川底との比高差は 5 m を測る。亀居遺跡と同じく、本遺跡をのせる北側台地は急傾斜、対岸の南側は緩やかな斜面を形成している。表面採集等から、遺跡の時期は旧石器時代、縄文時代中期、奈良・平安時代である。

調査期間 1994, 7, 11 面積 141m² 調査原因 駐車場造成

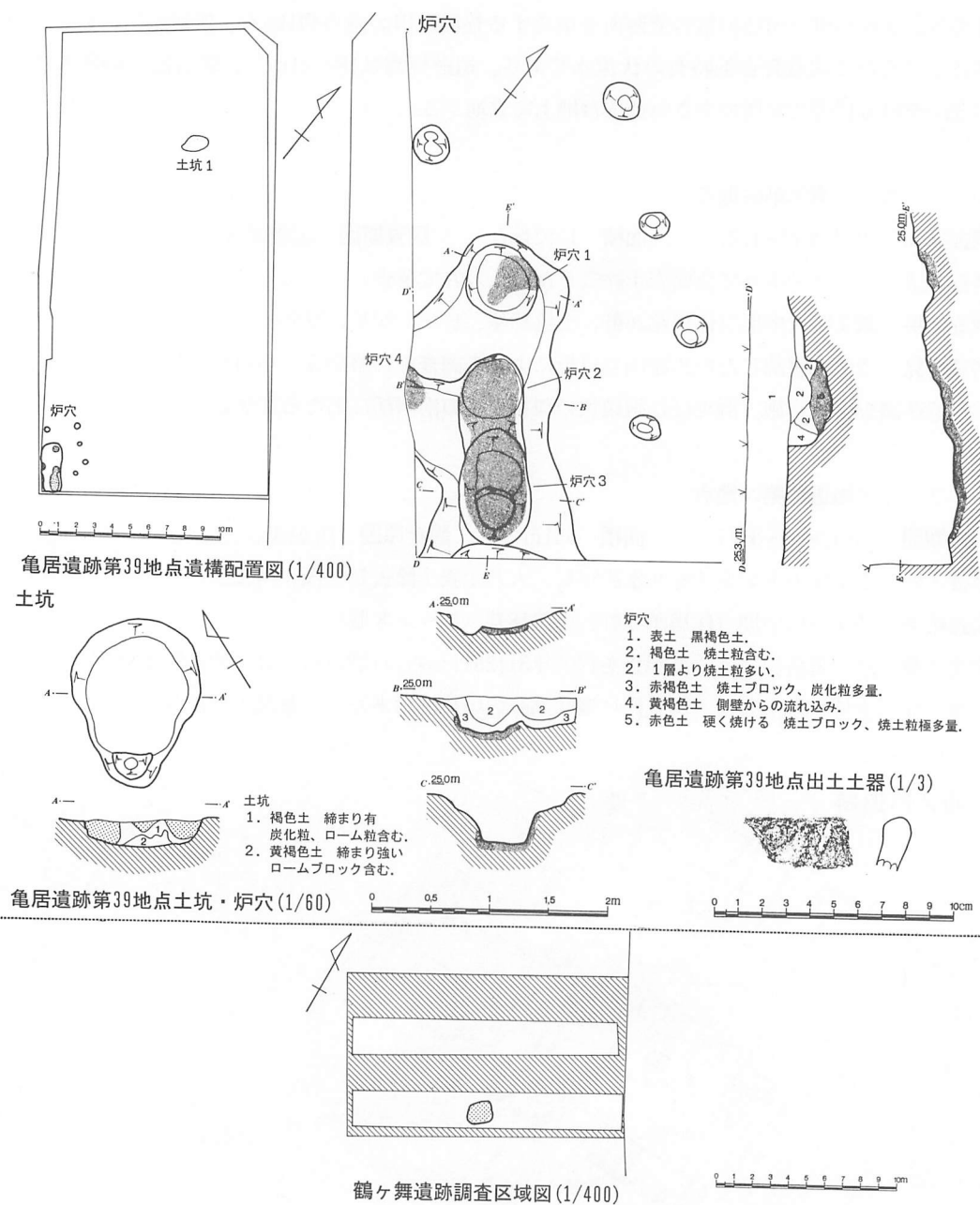
調査方法 2 m 幅のトレンチを 2 本設定し、バック・ホウで表土除去した後、人力で精査。

調査結果 遺構無し。焼礫一点出土。

調査所見 調査区は福岡江川から 200m 弱離れた地点にあり、遺構密度の薄いところと思われる。ただ、焼礫が一点とはいえ出土したことは、より川に近い地点で、旧石器時代の礫群が検出される可能性がある。

(3) 江川東遺跡第 2 地点

本遺跡は鶴ヶ舞遺跡の下流部、福岡江川の右岸に位置している。標高 16～18m で現川底との比高差は 2 m を測り、緩やかな斜面を形成している。表面採集や今回までの調査から、遺跡の時期は奈良・平安時代及び中近世である。



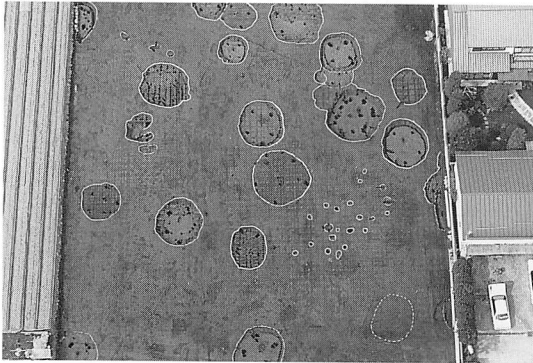
亀居遺跡・鶴ヶ舞遺跡・西ノ原遺跡



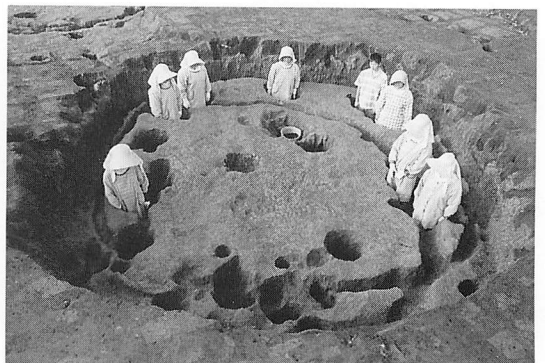
亀居遺跡第39地点 土坑



鶴ヶ舞遺跡第3地点



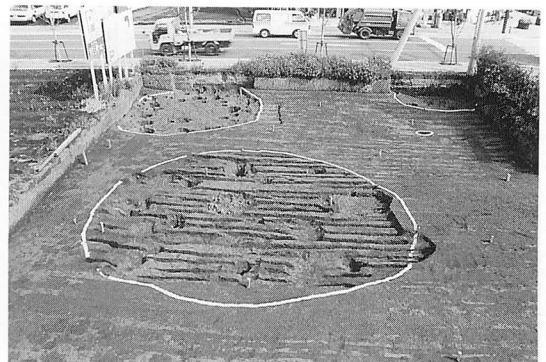
西ノ原遺跡第69地点 全景



西ノ原遺跡第69地点



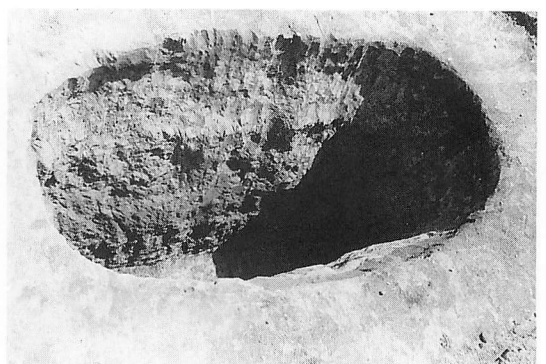
西ノ原遺跡第70地点 伏甕土坑



西ノ原遺跡第70地点 東側住居跡



西ノ原遺跡第71地点



西ノ原遺跡第71地点 おとし穴